

笑顔で元気にさやかに  
**明治中だより**

令和6年度 第1号  
4月30日 発行  
八戸市立明治中学校

第78回入学式

4月8日、22名の1年生が、晴れて仲間入りしました。

さて、新入生の皆さん。制服を着た感想はいかがですか。いよいよ中学生になった、と少し照れくさくもあり、晴れ晴れとした気持ちでもあると思います。今日のこの新鮮な気持ちを、しっかりと心に留めておいてください。

入学式で皆さんに伝えたいお話を、ここから始めたいと思います。アフリカの大自然の真ん中で、生身の体ひとつで、一晚無事に過ごし朝を迎えることができるか、ということ想像してみてください。私は、とうていできそうもない、と思ってしまいます。多くの肉食動物が生息する環境で、生身の人間は本当に弱い存在です。もし無事に朝を迎えられたとしても、それは偶然で、相当の幸運に恵まれただけのものである、と思います。しかし普段の生活で眠りにつくとき、また外出するときに、そういう心配をする必要は全くありません。それは、一人一人はか弱い生き物である私たち人間が、集い、力を合わせ、知恵を出し合い、補い合って、安心して生きていける社会を作って生きているからです。中学生になる、ということは、その社会の一員として、力を発揮することが期待されたり求められたりするようになる、ということを意味しています。

中学校は、「集団を育てる」ことが、全ての取組の根本にあります。これは、その先に「社会性を育てる」ということが目標としてあるからです。社会性には、誰かの役に立てる、という一面があります。つまり、皆さんは中学校で、誰かの役に立てる人になるため、その力を高めるために頑張る、ということになります。

誰かの役に立つ、ということは、具体的には「体と心を働かせる」ということです。一つ目の「体を働かせる」とは、勉強して知識と考える力を身に付ける、経験を積んで技術を身に付けることで、その先には仕事に就く、という将来の姿があります。二つ目の「心を働かせる」とは、周りの人を思いやり、助けるための行動を起こす勇気と決断力をもつことで、その先には、頼りにされる人の姿があります。

では、そうした力を身に付けるにはどうすればいいでしょう。その答えは、中学校生活を頑張り抜く、という一点にあります。今皆さんが胸に秘めている新鮮な気持ちを持ち続け、中学校という学校生活の場で、勉強に、行事や諸活動に、部活動に、ボランティアに、新しい物事に、勇気をもって決断し、どんどん挑戦することです。必ず自分の将来に生きる、素晴らしい力が備わっていきます。人生の土台づくり、その第一歩となるのが中学校生活なのです。 （式辞 一部抜粋）



修学旅行にいってきました

4月14日～16日、東京・千葉方面へ行ってきました。



旅行初日は、劇団四季のライオンキング観劇から始まり、浅草寺・スカイツリーの見学、2日目はディズニーランド、3日目は湯島天満宮参詣と上野公園見学。全行程を晴天で過ごすことができました。子どもたちは集団生活の在り方を見直し、日々向上。「気付いて行動する力」が一段と伸びた旅行になりました。



小・中ジョイントスクール  
あいさつ運動

4月24～26日、明治小学校校門付近で、小中合同の挨拶運動を行いました。



～ゴールデンウィークの生活～

活動となりますので、交通安全にご注意ください。また、連休中の宿題も出ます。規則正しい生活を維持する中で課題を済ませ、併せて4月の疲れを取り、連休明けの生活に元気に臨めるようご配慮をお願いします。

**宿題をきちんと済ませて気分良く登校しましょう**

部活動では市内各所にて春季大会が行われます。普段の生活とは違う場所での